

# 森林ノ牧場



健康な森があって、健康な牛がいて、  
健康でいられる人の生活がある。  
そんなあたりまえを形にしていくために。

## 人と自然、人と人をつなぐ循環型自然産業創出の取り組み



## 企業理念 「持続可能社会の実現」

1977年、アマタはお客様の工場から排出されたものに資源としての価値を見出し、亜鉛の再資源化を始めました。これはアマタが、視点を変えることによって「循環型システム」をつくった、最初の事業となりました。

それ以来アマタは、環境リスク対策、農林水産業、エネルギー、食といった様々な分野でお客様に新しい視点を提供し、「循環型システム」をつくるお手伝いを重ねてきました。

絶え間なく変化し続ける生態系のようにアマタはこれからも進化し、世の中にとって欠かせない「つながり」をつくり続けます。

### 資源リサイクル

独自の再資源化技術のネットワークにより、多種多様な廃棄物のリサイクルを実現する。

〔工場：兵庫県姫路市、茨城県筑西市、京丹後市〕



### アウトソーシング

廃棄物管理の委託を受け、環境リスクと管理コストをダブル低減。



### コンサルティング

豊富な現場経験に基づく知識とノウハウを持つスタッフが、地域再生や自然産業、企業の環境CSR等を支援する。



### 認証

適切な管理をされた森林(林業)や魚場(漁業)を認証する「FSC森林認証」「MSC漁業認証」等を行う。



### 地域再生 プロデュース

再資源化技術、農林水産業コンサルティングのノウハウ等を活かし、地域資源を活用して、地域の価値を引き出す。



### アセット マネジメント

法律・金融、森林施業管理、木材流通の専門家が、森林のアセット価値を最適化するために包括的な森林管理支援を行います。



# アミタの事業ドメインマップ

## 総合最適の判断・実行



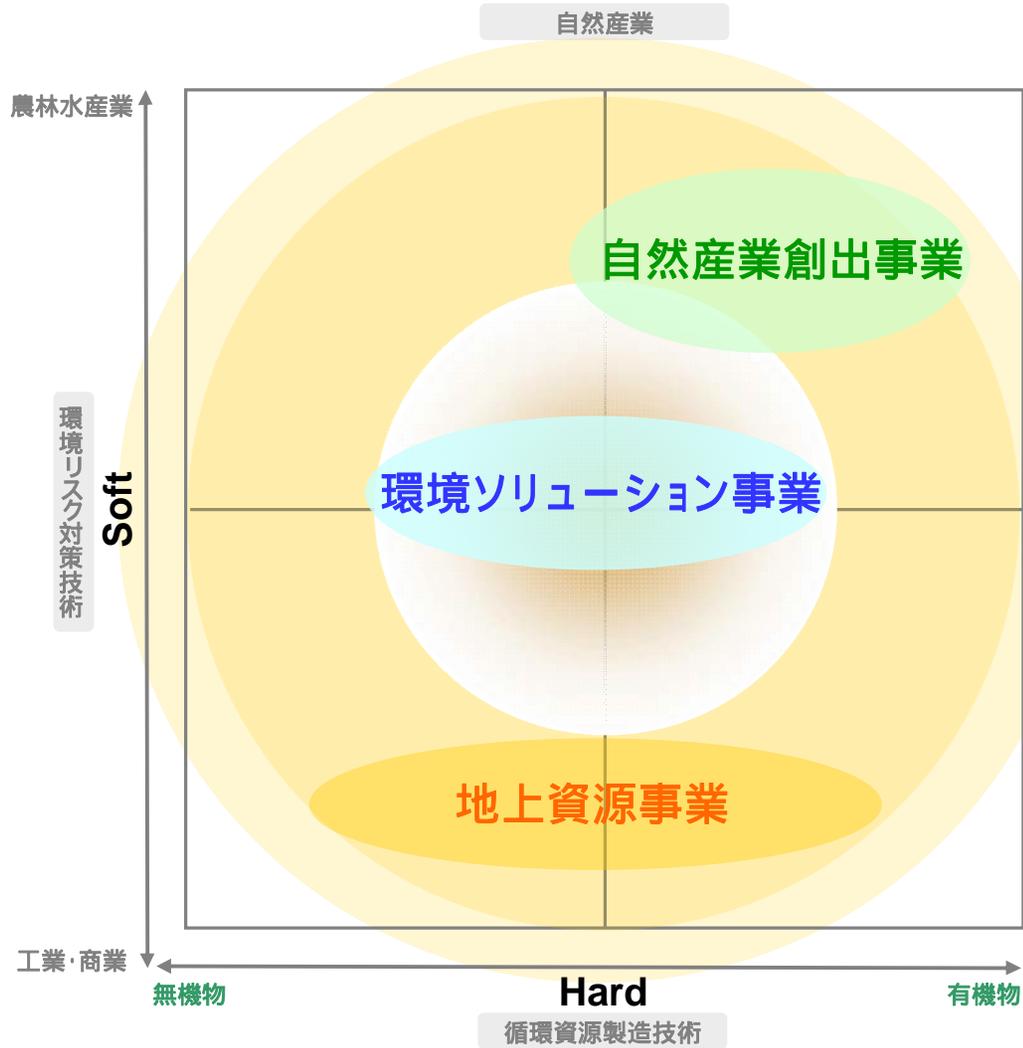
【京丹後ラボ】  
バイオガスプラント運営  
森林酪農 牛乳製造



地上資源事業  
茨城循環資源製造所



地上資源事業  
姫路循環資源製造所



自然産業創出事業  
森林ノ牧場  
地域再生プロデュース



自然産業創出事業  
FSC認証審査業務  
MSC認証審査業務



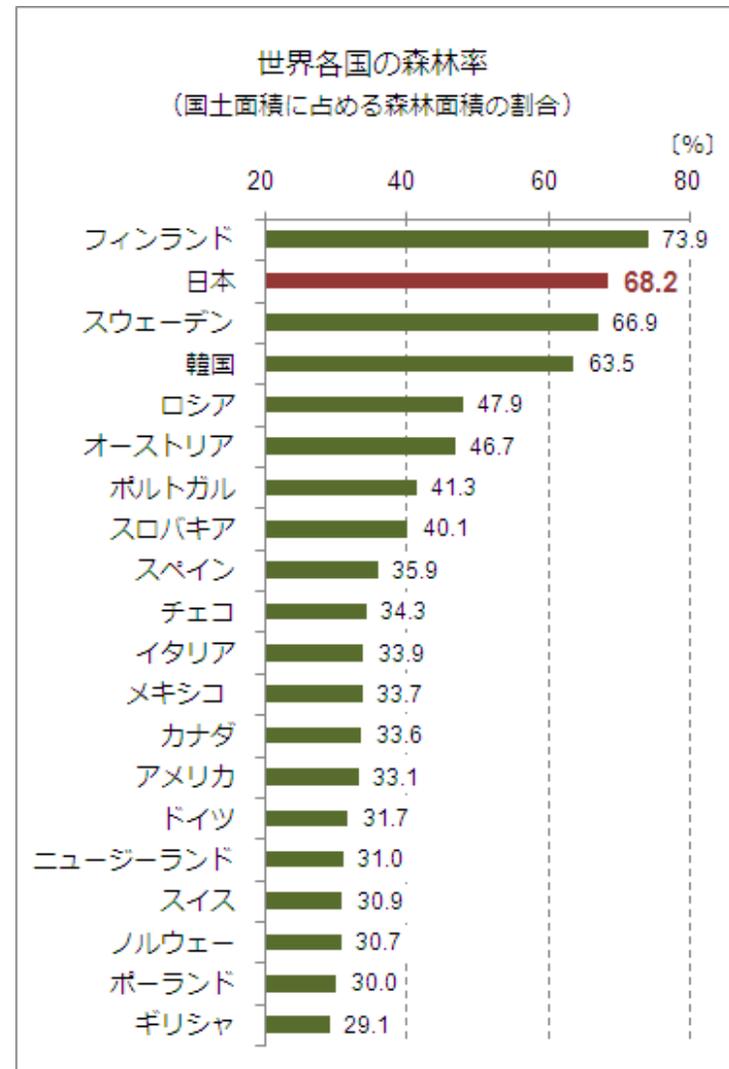
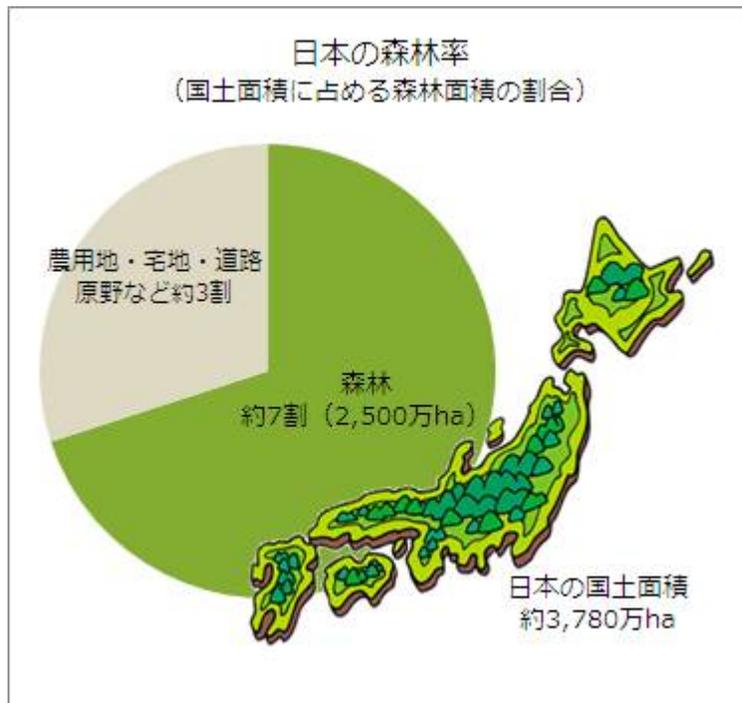
ソリューション事業  
環境教育セミナー企画実施、  
通信教育



# 日本の森林資源

日本の森林は約2500万haあり、そのうち約1300万ha(約5割)が天然林、1000万ha(約4割)が人工林、残りが無立木地、竹林など。

国土面積に占める森林面積は約66% (森林率約7割)で、先進国の中では有数の森林大国。



日本の森林を見棄てない。  
価値を生み出す存在として活用。

# 「森林酪農」とは？

## 荒廃する森林・林業

輸入木材の急増による価格低迷  
間伐遅れによる人工林の荒廃  
燃料革命等による里山の荒廃

地域の  
過疎化  
担い手の  
高齢化

## 疲弊する酪農

輸入飼料への依存、価格高騰  
乳価の低迷、相次ぐ廃業  
工業的大量生産モデルの限界

## 持続可能な森林・林業

木材を生産するだけでなく、下草や  
森林空間を複合的に活用する  
短期 + 長期サイクルの収益構造

## 持続可能な酪農

輸入飼料や工業的飼育に頼らず  
自然の摂理と恵みをそのまま活かす  
価値の高いQOL商品づくり

衰退する「林業」と「酪農」の融合による  
新たな価値と自然産業の創出  
「森林酪農」

## アマタの考える「森林酪農」の手法

放置された里山、手入れの必要な植林地、耕作放棄地、  
廃牧場、廃スキー場・ゴルフ場などを有効活用 価値創出

輸入飼料に依存せず、森林の下草をえさにする(舌草刈)

1haあたり、0.5～2頭の放牧 ふん尿の自然循環が可能

365日、昼夜周年放牧 大規模な牛舎は不要

自然交配、自然分娩、母乳哺乳、長期搾乳、が基本



真冬の牧場

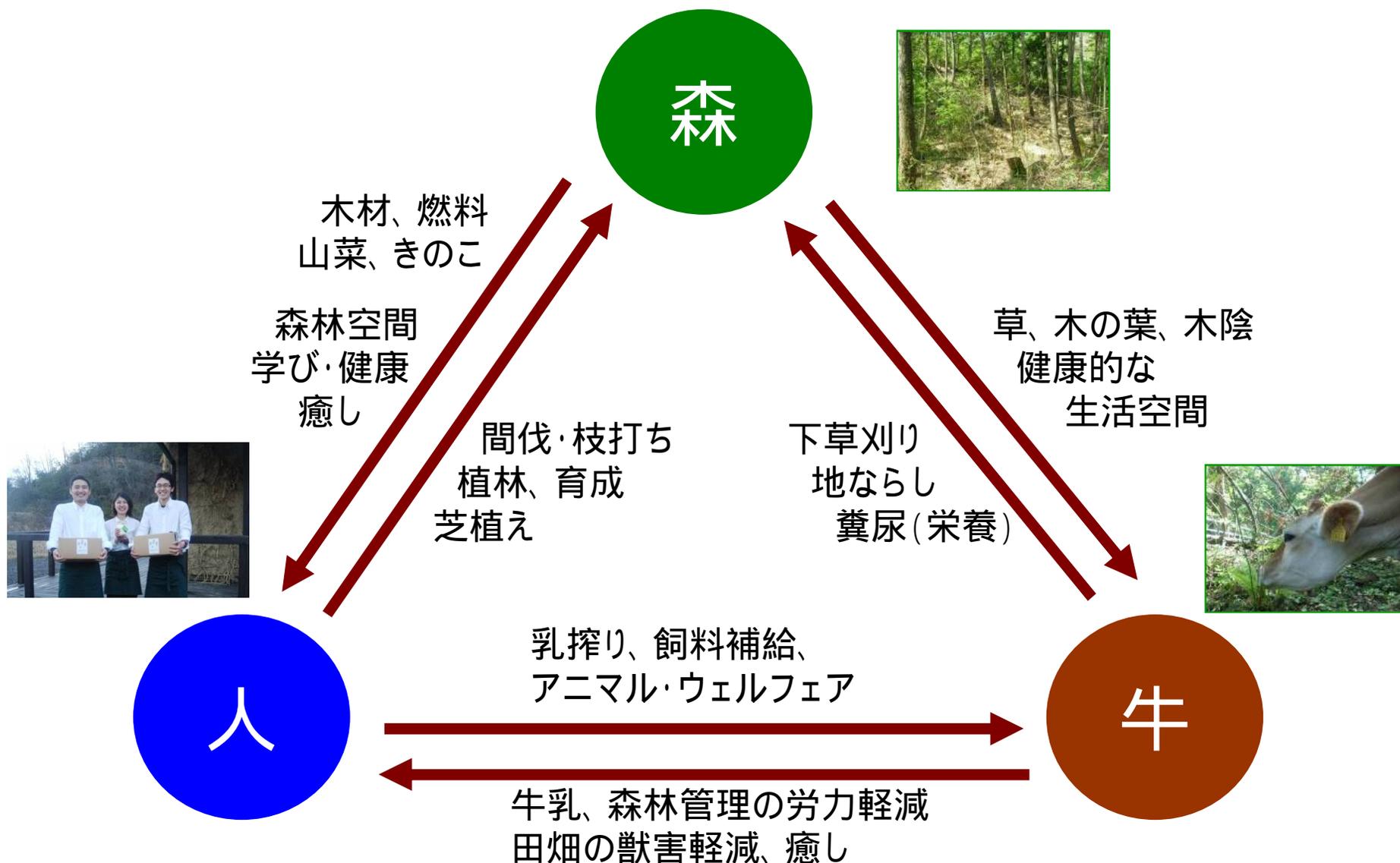


森林の下草刈り



# 森林酪農が生み出す関係性の概念図

「森林酪農」 = 「自然放牧酪農」 + 「大径木林業」 + 「X・・・」



## 京丹後市におけるアマタの主な取組内容

2002年6月 環境教育研修センター「風のがっこう京都」 オープン

2003年7月 京都エコエネルギープロジェクト(KEEP) 採択

2005年8月 KEEP バイオガス発電施設稼働開始

【取組内容】

・バイオガス発電施設の計画・運用・管理 アマタの一事業所「京丹後循環資源製造所」として実施

2006年8月～ 発酵肥料を利用した野菜栽培

【取組内容】

・京丹後市の「環境保全型農業普及・実証プロジェクト事業」において、  
バイオガス発電施設から出る有機質肥料を利用し、秋・冬野菜等の栽培試験

2007年4月～ 有機質液肥を利用した米栽培を実施

【取組内容】

・バイオガス発電施設から出る有機質液肥を利用して、  
減農薬・減化学肥料による米栽培を実施。

2007年12月末～ 森林ノ牧場事業開始

【取組内容】

・荒廃する森林に牛を自然放牧し、乳製品を生み出しながら  
長期的に森林を適正に残し、森林の再資産化  
を目指す、森林共生型酪農

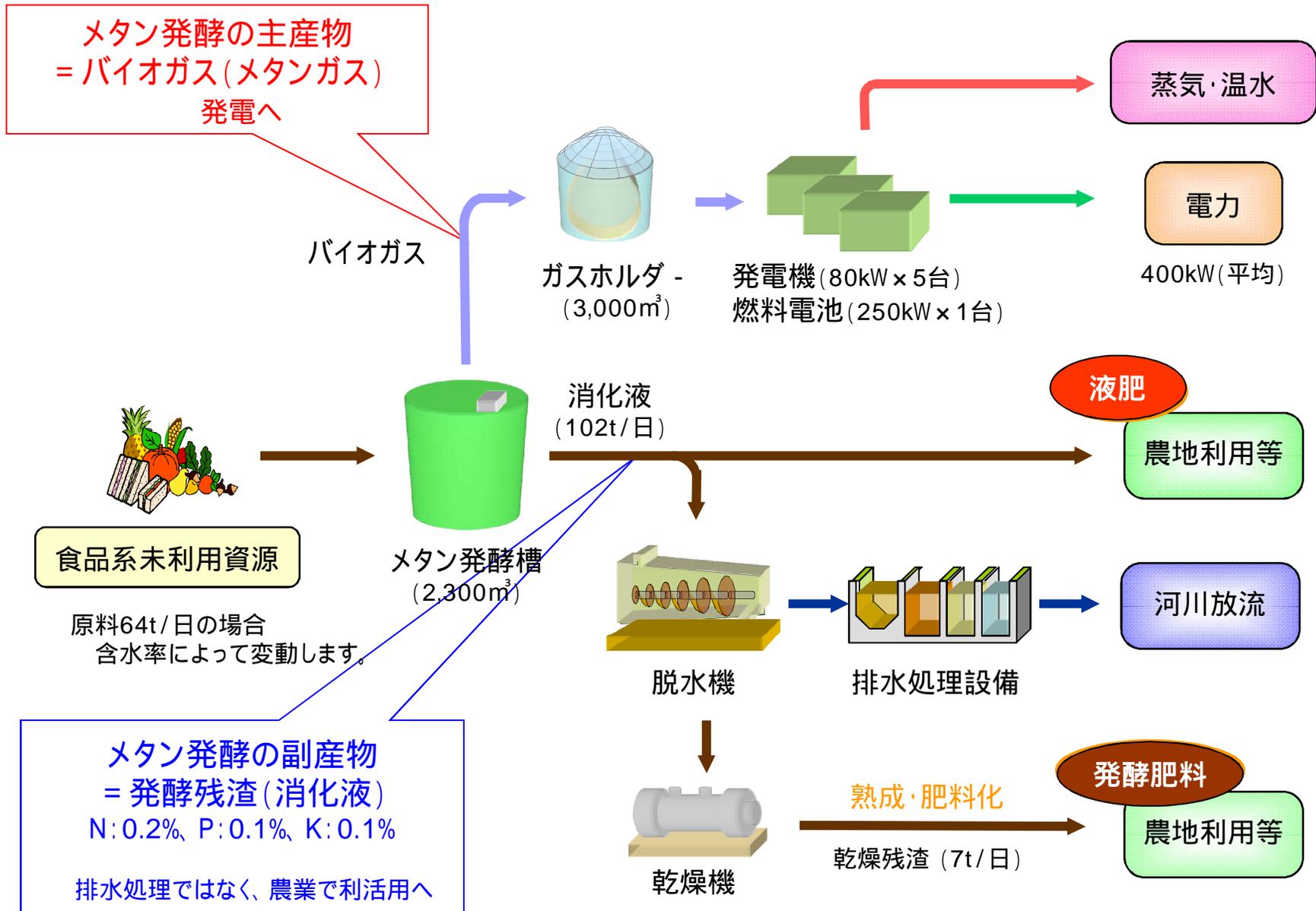


## 「森林ノ牧場」を発電プラントの隣りに開設

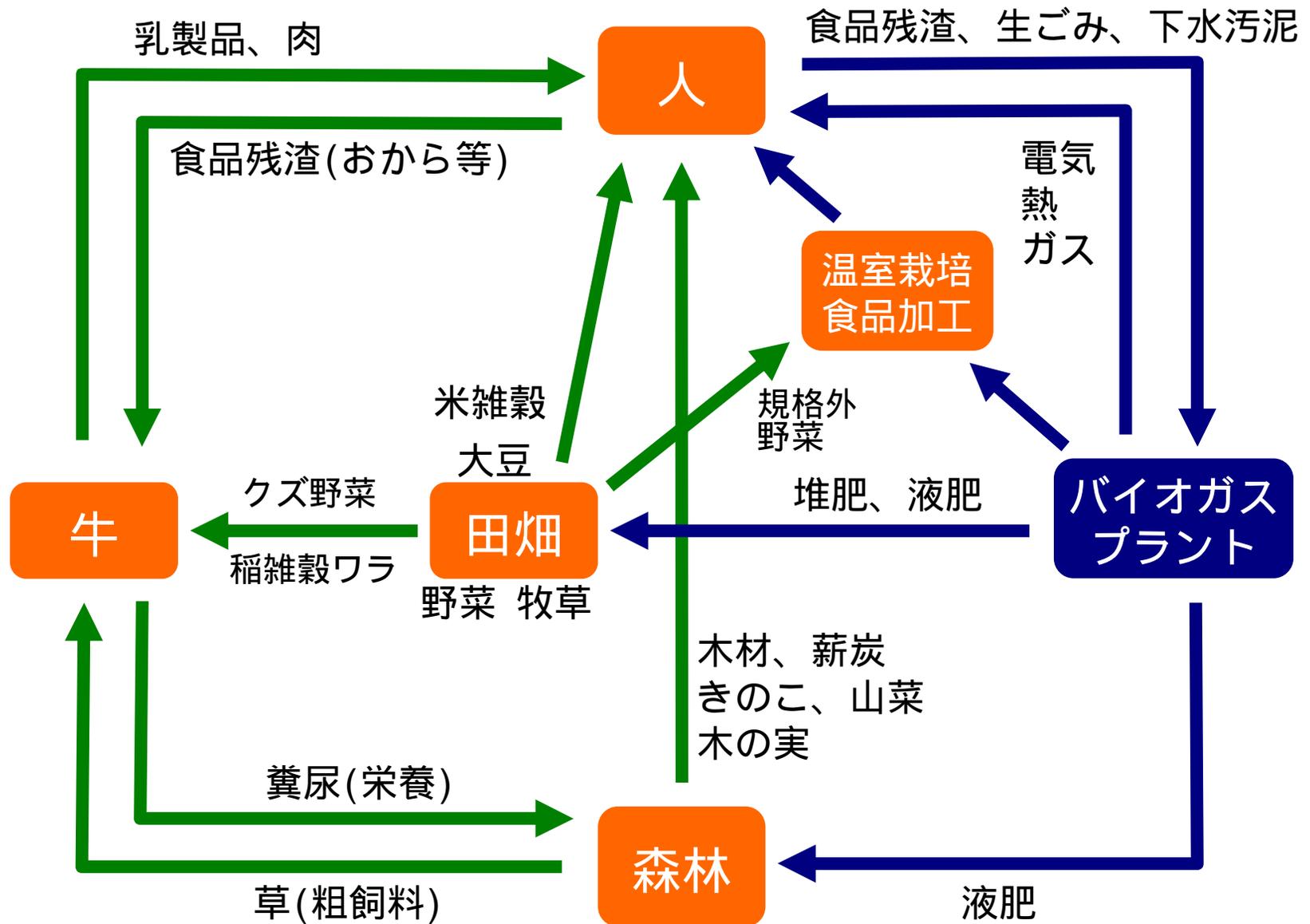
2007年12月、アマタが運営するバイオガス発電プラントに隣接する森林で、自然放牧による牧場「森林ノ牧場」と、牛乳プラント兼店舗「森林ノ工房」を開設



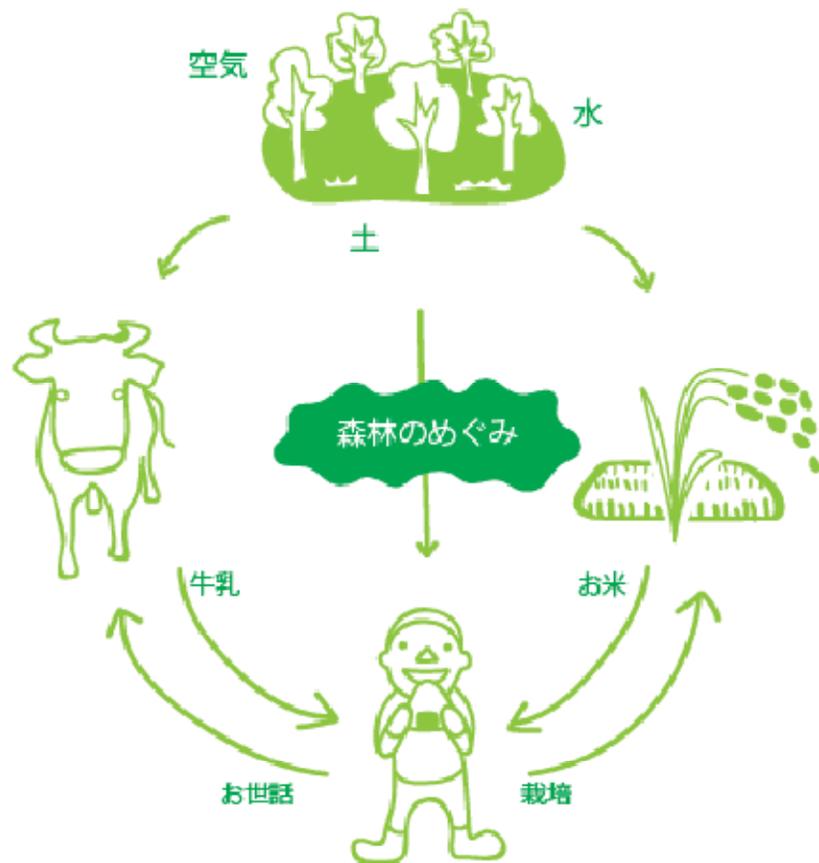
# バイオガス発電施設のフロー概略図



# 京丹後における関係性の構想概念図



## 森の恵みが実らせた「森林ノお米」



丹後の里で、森の恵みを受けて育ったコシヒカリ。  
アマタが地域の熱心な農家の方々と契約栽培。  
栽培期間中、化学農薬を使っていません。

# 森林ノ牧場 那須 - コミュニティ形成モデル

森林ノ牧場 那須は、栃木県  
那須町と福島県西郷村の境付近。  
新夕狩の地にある、約8haの山林  
でスタートしました。

所在地・栃木県那須郡那須町大字豊原乙

総面積・約8ha

放牧牛・ジャージー種

成牛11頭・仔牛3頭

(2009年7月現在)

飼育方法・通年昼夜放牧

自然交配

飼料・現地に自生する自然植物

現地に播種育成した芝等の植物

農業事業から出る残茎葉

国産牧草 等

その他僅量の国産濃厚飼料

施設・カフェ

牛乳等生産工場

搾乳用牛舎

ストローベイル・ハウス

交通・JR新白河駅より車で約10分

白河ICより車で8分



# 那須における関係性概念図

